令和５年６月１日

令和４年度　特別の教育課程の実施状況等について

学　校　名	管理機関名	設置者の別
鹿嶋市立波野小学校（外 10 校）	鹿嶋市教育委員会	公立

１．学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学　校　名	特別の教育課程の編成の方針等の公表 URL
鹿嶋市立波野小学校	http://www.sopia.or.jp/namino/wp/?page_id=8899
鹿嶋市立豊郷小学校	http://www2.sopia.or.jp/toyosato/%e7%89%b9%e5%88%a5%e3%81%ae%e6%95%99%e8%82%b2%e8%aa%b2%e7%a8%8b%e3%81%ae%e5%ae%9f%e6%96%bd%e7%8a%b6%e6%b3%81
鹿嶋市立豊津小学校	http://www2.sopia.or.jp/toyotu/wp/wp-content/uploads/2023/03/e7aa6285346364390c3d9bad9684c7dc.pdf
鹿嶋市立鹿島小学校	http://www.sopia.or.jp/kasyo/wp/%e5%a4%96%e5%9b%bd%e8%aa%9e%e6%b4%bb%e5%8b%95%e3%83%bb%e5%a4%96%e5%9b%bd%e8%aa%9e%e3%81%ae%e5%ad%a6%e7%bf%92
鹿嶋市立平井小学校	http://www2.sopia.or.jp/hiraies/wp/09englishachtivity
鹿嶋市立三笠小学校	http://www.kashima.ed.jp/~mikasa-el/wp/?page_id=24990
鹿嶋市立鉢形小学校	http://www2.sopia.or.jp/hachikko/%e5%ad%a6%e6%a0%a1%e7%b4%b9%e4%bb%8b/%e7%89%b9%e5%88%a5%e3%81%ae%e6%95%99%e8%82%b2%e8%aa%b2%e7%a8%8b%e3%81%ae%e5%ae%9f%e6%96%bd%e7%8a%b6%e6%b3%81
鹿嶋市立大同東小学校	http://www2.sopia.or.jp/daido/wp/wp-content/uploads/2020/03/3430d0704c332d2422bd19bcb07525d3.pdf
鹿嶋市立大同西小学校	http://www2.sopia.or.jp/daidouw/wp/?page_id=14165
鹿嶋市立中野東小学校	http://www.kashima.ed.jp/~nakahiga-el/%e7%89%b9%e5%88%a5%e3%81%ae%e6%95%99%e8%82%b2%e8%aa%b2%e7%a8%8b%e3%81%ae%e5%ae%9f%e6%96%bd%e7%8a%b6%e6%b3%81
鹿嶋市立中野西小学校	http://www.kashima.ed.jp/~nakanowel/%e2%98%8501%e3%80%80%e5%ad%a6%e6%a0%a1%e7%b4%b9%e4%bb%8b/%e7%89%b9%e5%88%a5%e3%81%ae%e6%95%99%e8%82%b2%e8%aa%b2%e7%a8%8b%e3%81%ae%e7%b7%a8%e6%88%90%e3%81%ae%e6%96%b9%e9%87%9d%e3%81%ab%e3%81%a4%e3%81%84%e3%81%a6

２．学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学　校　名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
鹿嶋市立波野小学校	上記のとおり	上記のとおり
鹿嶋市立豊郷小学校	上記のとおり	上記のとおり
鹿嶋市立豊津小学校	上記のとおり	上記のとおり
鹿嶋市立鹿島小学校	上記のとおり	上記のとおり
鹿嶋市立平井小学校	上記のとおり	上記のとおり
鹿嶋市立三笠小学校	上記のとおり	上記のとおり
鹿嶋市立鉢形小学校	上記のとおり	上記のとおり
鹿嶋市立大同東小学校	上記のとおり	上記のとおり
鹿嶋市立大同西小学校	上記のとおり	上記のとおり
鹿嶋市立中野東小学校	上記のとおり	上記のとおり
鹿嶋市立中野西小学校	上記のとおり	上記のとおり

３．特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

（１）特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

（・計画通り実施できている）

・一部、計画通り実施できていない

・ほとんど計画通り実施できていない

（２）実施状況に関する特記事項

なし

（３）保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

（・実施している）

・実施していない

＜特記事項＞

なし

３．　実施の効果及び課題

（１）特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

　これからの時代において必要とされるグローバルな視野を持った人材を早期から育成することを目標とするなか、市主催の英会話教室参加児童数が増えたり、県事業であるプレゼンテーションフォーラムに積極的に参加する生徒が増えたりしている。

　また、本市において、文科省の目標でもある「中学校３年生卒業時の英語力が CEFR A1 レベル（英検３級など）以上の生徒が 50%以上という目標に対して、５年間に渡り目標を達成している。

（２）学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

　本市においては，小学校第１学年から外国語活動を実施し、小学校第６学年対象外部調査「GTEC Junior 2（4技能）」において、昨年度、「話す力」が全体参考値を6.7ポイント上回ったのに対し、今年度は過年度比較として7.4ポイント下回った。昨年度と母集団は違うが、各校の結果に乖離が見られた。指導者と児童が学習到達目標であるCan-doリストを共有し、児童が身に付けたい資質・能力を明確にして授業づくりをする必要がある

　一方、「読む力」「聞く力」は全体参考値を上回った。

特に聞く力の問題別にみると、「会話での質問の答えがわかる」「まとまった英語をきいて内容がわかる」問題において、前年度の本市値を上回った。昨年度の課題から児童が具体的な情報を聞き取ったり、短い話の概要を捉えたりするなど、目的をもった聞き取る活動を行っているので、継続していきたい。

４．課題の改善のための取組の方向性

　３に示すような課題を踏まえて，引き続き系統的な英語教育の推進に努める。その手立てとして以下３点を示す。

　１点目は、昨年度に引き続き、小学校第１・２学年における授業づくりである。

年間２０時間の中で児童が外国語、第二言語の英語に親しむことができるよう、児童の実態と発達段階に合わせ、年度ごとに市のシラバス、レッスンプラン、および教材の見直しを行う。

　２点目は、「英語力を確かめる場の提供」および「アセスメントテストや外部試験等の結果からの授業改善」である。茨城県ではアセスメントテストとして英検ＥＳＧ（旧英語トライアル）を実施、市では外部試験 GTEC Junior2 を実施している。これらのフィードバックをもとに、どのスキル（資質・能力）にどのような手立てが必要なのかを考えるなど、RPDCA サイクルでの授業づくりを行う。

　３点目は「小中学校における学びの継続性づくり」である。

令和５年度より中学校１学年の年度始めの授業において、小学校での学びを生かす授業を実施する。（小学校６年生担任が中学校１年生年度始めの授業内容[英語での言語活動]を説明）

（実施することで児童は、）

・既習の表現を生かすことができる。

・中学校入学に向けて、見通しをもつことができる。

・初めての中学校授業への不安を軽減することができる。

（教師は、）

・「英語による言語活動」を中心とした授業展開を１学期のスタートから意識できる。

・小学校での学びを確認する機会を設けることができる。

これらの方向で本特例の改善を図ることが必要と考えられる。そして系統的な英語教育を推進するために、次年度も各校と教育委員会の両輪で学びづくりをしていく。